

# ゆうちょ自動振替の申し込みから利用開始までの手順

寺院・護持会向けに、ゆうちょ自動払込み（自動振替）導入の一般的な流れをまとめました。

## 1. 事前準備

- 寺院名義または護持会名義のゆうちょ口座を確認します。
- 会費（金額・時期・頻度）を整理します。
- 檀家名簿・住所録を整備します。
- 自動振替へ移行する対象者を決定します。

## 2. ゆうちょ銀行へ相談

- 最寄りのゆうちょ銀行または郵便局へ相談します。
- 「自動払込み利用申込」を行いたい旨を伝えます。
- 必要書類・手数料・審査内容を確認します。

## 3. 必要書類の提出

- 自動払込み利用申込書
- 通帳または口座確認資料
- 団体確認資料（規約などを求められる場合あり）
- 印鑑（届出印）

## 4. 審査・登録

- ゆうちょ銀行側で登録・審査が行われます。
- 口座振替用の加入者番号などが発行されます。
- 利用開始スケジュールを確認します。

## 5. 檀家へ自動振替依頼書を配布

- 寺院から檀家へ「自動払込み利用申込書」を送付します。
- 記入方法説明文を同封すると回収率向上につながります。
- 未提出檀家には早めに再案内します。

## 6. 申込書回収・提出

- 檀家から返送された依頼書を確認します。
- 記入漏れ・印鑑相違を確認します。
- まとめてゆうちょ銀行へ提出します。

## 7. データ管理・システム登録

- 檀家情報をパソコンへ登録します。
- 振替口座・会費・地区情報などを一括管理します。
- バーコードやシステム利用により入力ミス防止を行います。

## 8. 運用開始

- 指定日に自動振替が実施されます。
- 入金結果を確認します。
- 未納者はシステムで管理します。
- 決算資料へ自動反映し会計処理を効率化します。

## 9. 導入効果

- 会費回収の訪問負担軽減
- 未回収防止
- 請求漏れ防止
- 会計処理迅速化
- 世話人の高齢化対策
- 引継ぎしやすい運営体制構築

### まとめ

ゆうちょ自動振替を導入することで、寺院・護持会における会費管理の省力化と未回収防止が可能になります。特に、世話人の高齢化や後継者不足に悩む寺院では、寺院主体による管理体制への移行手段として有効です。

### ●護持会会計導入事例紹介

<https://www.mscn.net/home-ms/shunew/lp/temple/jirei/gojikai-kaikei.html>